

平成23年度 決算説明書／事務事業評価シート

前年度課室名	生涯学習課
課名	社会教育課

予算	款	項	目	決算書
	10	5	5	220 頁

目名
図書館費

事務事業名称
図書館管理運営事業

1. 概要

目的	市民の学習ニーズに応えるため、常に新鮮な情報・資料を収集し、情報センターとしての機能充実を図る	対象	豊後大野市民及び豊後大野市近隣住民
事業概要	<p>○図書館館外事業・・・移動図書館車運行(小学校・幼稚園・保育園等 管内計19箇所)</p> <p>○図書館館内事業・・・蔵書の整備(導入図書:4,310冊)</p> <p>○図書館教育事業・・・各種読書行事の開催(54回開催)</p> <p>○図書館運営事業・・・施設環境の整備 資料提供の整備(選書会議46回)、団体貸出(12,913冊)、相互貸借(受入1,260件、貸出50件) レファレンス(1,213件)、広報活動(市報、インターネット、ケーブルテレビ等)</p> <p>○中央図書館整備事業(交付金事業)・・・空調設備改修(11基)、屋上防水改修工事(A=546㎡)</p>		

臨/経	事業名	事業内容(主な経費等)	予算現額(千円)	決算額(千円)	財源内訳				評価
					国・県支出金	市債	その他	一般	
経常	図書館館外事業	移動図書館車運行 備品購入費	1,904	1,742				1,742	3
経常	図書館館内事業	書籍購入 備品購入費	5,129	5,129			120	5,009	3
経常	図書館教育事業	行事開催 報償費	674	674				674	3
経常	図書館運営事業	図書館運営 報酬	18,107	16,870			15	16,855	3
新規									
臨時	中央図書館整備事業(交付金事業)	図書館整備 工事請負費	22,404	19,645	19,645				2
廃止									
臨時	ふるさと文庫(ふるさと応援基金繰入金)事業								
計			48,218	44,060	19,645	0	135	24,280	

2. 指標設定

成果指標	指標名	学習ニーズに即した情報提供環境の整備	目標年度	H27	指標の設定理由			
	数値	—			後期基本計画において基本施策(5-1-1)の重点施策であるため			
活動指標	指標	a	来館者数	b	図書貸出冊数	c	移動図書館利用者数	d
	数値	目標	50,000人	目標	100,000冊	目標	延8,000人	目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H21	H22	H23
学習ニーズに即した情報提供環境の整備		—	—	—

活動指標名	単位	H21	H22	H23
a 来館者数	人	38,775	38,364	35,905
		77.6 %	76.7 %	71.8 %
b 図書貸出冊数	冊	87,815	92,187	89,047
		87.8 %	92.2 %	89.0 %
c 移動図書館利用者数	人	5,291	6,069	5,776
		66.1 %	75.9 %	72.2 %
d				

4. 課題と対応

課題
市民の学習ニーズの多様化に伴い、一層の図書館機能の向上を図ることが必要である
対応（改善点等）
新鮮な情報、資料を収集・提供する情報拠点として図書館機能の向上を図る

5. 事業費・・・H21～H23（決算額）、H24（予算現額）

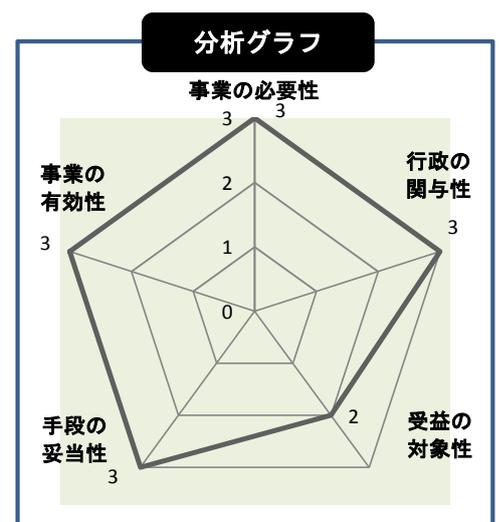
決算額（千円）		H21	H22	H23	H24
		25,865	37,768	44,060	25,630
うち経常経費		25,865	36,767	24,415	25,630
財源内訳	国費		11,864	19,645	
	県費				
	市債				
	その他	756	1,645	135	30
	一般財源	25,109	24,259	24,280	25,600
うち経常		25,109	24,258	24,280	25,600
事業費に係る人件費		12,800	13,139	12,900	12,881

6. H25年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
一層の図書館機能の向上を図ることによって、生涯学習の推進に努めることが必要であるため

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 図書館法第1条及び社会教育法第3条による
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 図書館法第2条による
③ 受益の対象性	事業対象の確認	2 施設遠隔地域及び交通弱者等については、不均衡が生じている
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 目的達成のため必要な手段である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 活動指標の推移により効果的である



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	課題に対応するとともに、引き続き、公共施設の見直し方針に則り事業の進捗を図ること(緒方図書館)